

平成 19 年度

予 算 算 定 調 書

〔 中央卸売市場事業会計

食肉市場事業会計 〕

中 央 卸 売 市 場

平成19年度 局配分予算算定案

中央卸売市場

ア 総括表

(単位:百万円)

	19年度算定(A)		18年度当初(B)		(A) - (B)	
	歳出	税等	歳出	税等	歳出	税等
中央卸売市場事業会計	16,068	( 3,978) 3,338	16,871	( 4,274) 3,602	803	(296) 264
食肉市場事業会計	2,990	(0) 1,706	3,008	(0) 1,768	18	(0) 62

上段( )書きについては、収支過不足額

局裁量経費・非裁量経費合計額

19年度算定(A)

配分額(B)

(A) - (B)

再掲	中央卸売市場事業会計	3,188	3,193	5 { 裁量 10 非裁量 5
	食肉市場事業会計	1,706	1,696	

配分を超過する理由

食肉市場事業会計と中央卸売市場事業会計の合計して配分額を超過しないこととした。ただし、中央卸売市場事業会計の非裁量経費において企業債の借り替えがあり利息額等に変更があったため、両会計の合計でその影響額(5百万円)が超過している。

## イ 中央卸売市場 局経営方針

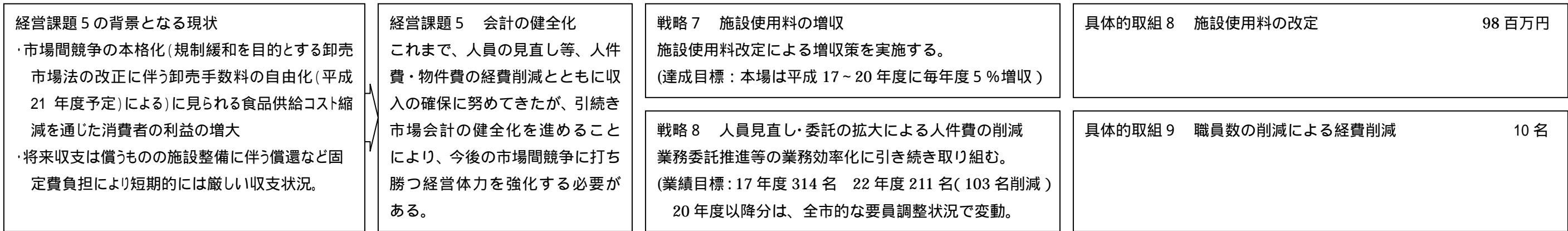
目標像：食糧品の生産・流通・消費が安定的かつ効率的に行なわれ、健康で充実した食生活・食文化を享受できる社会  
 使命：市民への安定的かつ安全・安心な生鮮食料品の供給を果たすとともに、適正な価格形成を図り、もって市民生活の安定に資すること

- ・出荷者・小売業者の大型化・寡占化に対応して消費者の利益を守るため多様な流通チャネルの確保に向け、流通の結節点としての機能・役割を果たすこと
- ・市場取引が生産、雇用、税収に及ぼす波及効果にかんがみ、産業経済の基幹的施設としての機能・役割を果たすこと

### 平成 19 年度予算編成の考え方

多額の累積欠損金を有する中央卸売市場事業会計をはじめ、同様に非常に厳しい収支状況にある食肉市場事業会計の両会計ともに、「局経営方針」に沿って施設使用料の改定や人員見直し・委託の拡大等によって会計の健全化に努めながら、開場から 40 年が経過して老朽化し耐震性にも問題のある東部市場の再整備など将来に向けた必要な投資や、BSE 対策など衛生対策経費の確保など、メリハリのある算定を行った。

現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	19 年度主要事業（主な取組）
<p>経営課題 1 の背景となる現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場間競争の本格化（規制緩和を目的とする卸売市場法の改正に伴う卸売手数料の自由化（平成 21 年度予定）による）に見られる食品供給コスト縮減を通じた消費者の利益の増大</li> </ul>	<p>経営課題 1 市場のあり方の検討</p> <p>市場の将来を見据えた中長期計画（将来ビジョン）を策定する必要がある。また、ビジョンに適合した経営形態を検討する必要がある。</p>	<p>戦略 1 中長期計画（将来ビジョン）の策定</p> <p>中長期計画（将来ビジョン）の策定。（達成目標：19 年度計画策定、順次実施）</p> <p>戦略 2 最適な経営形態の検討</p> <p>将来ビジョンに適合した最適な経営形態の検討を進める。</p>	<p>具体的取組 1 具体の実施計画の策定</p> <p>具体的取組 2 経営形態の検討</p> <p>5 百万円</p>
<p>経営課題 2 の背景となる現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食の安全・安心に対する消費者の関心の高まり、安全な食品へのニーズ増大</li> </ul>	<p>経営課題 2 食の安全・安心への取組</p> <p>衛生対策などの取組を進める必要がある。</p>	<p>戦略 3 衛生対策の推進</p> <p>食肉は BSE 対策等を実施。青果・水産は衛生対策の一層の充実。（達成目標：BSE 等衛生事故ゼロの継続）</p>	<p>具体的取組 3 BSE 対策</p> <p>77 百万円</p>
<p>経営課題 3 の背景となる現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場業者の経営は苦しくなっている。特に仲卸業者では多くの業者が赤字経営。</li> <li>・仲卸業者では多くの事業者の高齢化と従業員の採用難による後継者問題などから仲卸業者数が減少。</li> </ul>	<p>経営課題 3 市場業者の競争力の向上</p> <p>多様で活力ある市場内業者を育成・維持することにより、多種多様な流通チャネルを確保し、消費者の利益を守ることが必要。厳しい経営環境にある市場業者の経営力向上と今後の市場を取り巻く環境の変化に即応できる競争力向上を図る必要がある。</p>	<p>戦略 4 市場業者の競争力の向上</p> <p>衛生対策の推進（戦略 3）や施設・設備の充実（戦略 6）に加え、財務基準の明確化による改善措置、市場業者の体力強化のサポートを行い、市場全体の活性化につなげていく方策について検討する。</p> <p>戦略 5 規制緩和への対応</p> <p>委託手数料弾力化に伴う具体策の検討など（達成目標：21 年度実施をめざし検討）</p>	<p>具体的取組 4 仲卸業者等のサポート</p> <p>具体的取組 5 仲卸業者への経営相談・指導の実施</p> <p>具体的取組 6 規制緩和策の検討</p> <p>3 百万円</p>
<p>経営課題 4 の背景となる現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産・小売業者の大型化・寡占化に伴う流通面や衛生面での市場機能の高度化要請への対応を通じた消費者ニーズに合致した食品の提供</li> </ul>	<p>経営課題 4 施設・設備の充実</p> <p>施設再整備・設備更新を長期的な視野で適切に進める必要がある。</p>	<p>戦略 6 施設・設備の充実</p> <p>東部市場再整備事業等の市場機能向上に向けた整備を進める。（達成目標：18 年度基本設計、19 年度実施設計、20～23 年度工事）</p>	<p>具体的取組 7 東部市場再整備実施設計</p> <p>152 百万円</p>



## ウ 中央卸売市場 主要事業の概要

経営課題に対応する 19 年度の主要事業
----------------------

経営課題 1 市場のあり方の検討	5 百万円
1 中長期計画(将来ビジョン)の策定	
(1) 具体の実施計画の策定	
将来ビジョンに示された各種課題の具体の実施計画を策定する。	
(業績目標：19 年度中策定)	
2 最適な経営形態の検討	
(1) 経営形態の検討	
将来ビジョンに適合した最適な経営形態を検討し、とりまとめる。	
(業績目標：19 年度中に検討・とりまとめ)	
経営課題 2 食の安全・安心への取組	77 百万円
1 衛生対策の推進	
(1) BSE 対策	
牛の特定部位の除去並びに焼却廃棄処分等、BSE 対策の実施	
(業績目標：19 年度 BSE ゼロの継続)	
経営課題 3 市場業者の競争力の向上	3 百万円
1 市場業者の競争力の向上	
(1) 仲卸業者等のサポート	
サポート策を検討	
(業績目標：20 年 3 月までに検討)	
(2) 仲卸業者への経営相談・指導の実施	
(業績目標：新たに財務基準に抵触する業者を対象とした検査・指導の実施)	
2 規制緩和への対応	
(1) 規制緩和策の検討	
他都市との意見交換や状況把握・調査を実施し、規制緩和策を検討	
(業績目標：19 年度中継続実施)	
経営課題 4 施設・設備の充実	152 百万円
1 施設・設備の充実	
(1) 東部市場再整備実施設計	
東部市場再整備の実実施設計を実施	
(業績目標：20 年 3 月実施設計完了)	

1 施設使用料の増収

(1) 施設使用料の改定

本場について、施設使用料を 5 % 改定し、増収を図る。

(業績目標：19 年 4 月に施設使用料 5 % 改定)

2 人員見直し・委託の拡大による人件費の削減

(1) 職員数の削減による経費削減

10 名

〔中央卸売市場事業会計 7 名、食肉市場事業会計 3 名  
18 年度実施済み 1 名を含む〕

業務の効率化による職員削減等

(業績目標：19 年 4 月に 9 名削減)

全市的な要員調整状況を反映した。